

# 2023 年度 事業報告書

学校法人宮崎学園  
大阪ペピイ動物看護専門学校

## 1. 概況

23年度は、本学が愛玩動物看護師の指定養成所となる前に入学した、旧カリキュラムの学生が在籍する最後の年となりました。2年制の学生は前年度に卒業したため、3年制の2クラス・72名が卒業していきました。

卒業前に愛玩動物看護師試験を受験した3年生は、指定講習会を受けた後本試験を受ける最後の学年でしたが、第2回試験は第1回に比べて難易度が上がったと言われ、実際受験者全体の合格率は20%悪化する中、本学の在学学生は、見事に第1回を上回る合格率となりました。これは、学校で行った事前指導と、それを真摯に受け止めて勉学に励んだ学生の努力の賜物であると考えています。

一方、3年前までの入学生は、約半分が2年制、残りの半分が3年制の学生でしたが、どちらの学生も2年で動物看護師養成コアカリキュラムを終え、3年制の学生の3年目は、福祉・ドッグ・キャット・サロントリマーと言った、自ら選んだコース・専攻の授業が中心となっていたため、2年生途中で休退学する学生は少なかったのですが、23年度は、1年未満で休退学する1年生に加え、2年生途中で休退学する学生が増えてしまいました。基本的な知識を復習させることや魅力ある授業を目指すなど、できる限り途中離脱の学生を減らすよう、学校として対策を講じていきたいと考えています。

なお、新型コロナ感染症につきましては、全く無関係になったとは言えませんし、久々にインフルエンザが猛威を振るう時期もありましたが、前年度に比べて罹患した学生は極端に減少し、学校行事もほぼコロナ以前に戻ったことをご報告いたします。

## 2. 教育活動と行事

2023年4月7日 入学式

4月22日 保護者向け就職セミナー

6月9日 体育祭

7月15日 キャリアデザインセミナー

7月18日～27日 前期動物看護総合実習期間（3年）

9月28日 キャリアデザインセミナー

9月29日 特別授業「愛玩動物看護師の今後」（細井戸大成先生）

10月7日 学内就職セミナー

10月28日 教育振興会総会・教育懇談会

2024年1月13日 キャリアデザインセミナー

特別授業「V-MATについて」（船津敏弘先生）

特別授業「キャットフレンドリー」（吉内龍策先生）

2月8日 1年生特別授業「命の授業」（今西乃子先生）

（2月18日 愛玩動物看護師国家試験）

2月26日～3月6日 後期動物看護総合実習期間

3月10日～14日（3班に分かれ、各班2泊3日） 大分研修

3月11日 社会人基礎力育成講座

3月21日 卒業式

### 3. 学生募集状況および学籍者

24年度の入試について、昨年同様120人を募集し、AO入試を6月18と22日、一般・社会人・大学生入試を10月15日に実施しました。

選考方法として、より本人の能力を多面的に把握できるよう、昨年度から小論文を面接終了後に書いてもらうこととし、面接と併せた点数によって合格者を決めました。

AO入試、一般入試併せて延べ178名の出願があり、127名に合格を出しましたが、2人の辞退があり、125名+復学・留年3人の、128名で新年度をスタートしました。

#### ○在籍者数(カッコ内は休学者、外数)

学科名	1年	2年	3年	合計
動物看護総合学科 2023/4/1	127(5)	108(3)	72(1)	307(9)
動物看護総合学科 2024/4/1	128(4)	112(6)	101	341(10)

### 4. 重点実施項目について

#### 1) 教育力と学生指導力の向上

「日本から犬がいなくなる日」を上梓された、東大名誉教授（国立科学博物館前館長、山階鳥類研究所前所長）の林良博先生を講師会にお招きし、講演会を開催しました。

教職員は事前に「日本から……」を読んで参加、当日はご自身の活動についてのお話を伺いました。

#### 2) ペピイグループやNKスクエア玉造と連携した新たな魅力づくりの推進

ペピイカフェがオープンし、昼食の提供を始めるとのことで、学校としても食堂がないことを補うため、昼食券に補助を出して利用を促進しました。23年度は、学生と教職員によって延べ1740食が利用され、24年度に入ってさらに利用者が増加しています。

#### 3) 1年生の離脱者6%以下

22年度は、当初127名が入学したものの、退学9名(7.1%)、休学6名となりました。一昨年に比べて退学者の率・数ともに減少しましたが、2年生の退学が3名、休学7名と、全校では前年を大きく上回りました。

昨年度の休退学の理由についてはこれまでと違い、明らかに学力不振またはそれに端を発した進路変更によるものがほとんどを占めています。これを防ぐには、補講という方法が有効ではありますが、教員の負担増が大きく、現在の体制では無理があります。

また、直接の対策ではありませんが、新入生の基礎学力の向上方法について、基礎学力講座を実施していますが、入学前に実施する方法を模索していきます。

#### 4) 就職活動について

卒業生	就職希望者	就職決定者	率	動物病院希望者	動物病院決定者	率
72	72	70	97.2	70	69	98.6

就職希望者から2名が内定獲得できませんでした。

なお、動物病院側の採用活動が早まる傾向にあることに対応し、就職関連セミナー等を早めていますが、就職活動を大幅に早めている学校があるとの情報もあり、本学としてどう対応するかは、今年度の状況を見ながら決めていくこととします。

#### 5) 愛玩動物看護師国家試験に対する万全の対応

第2回となる試験は、昨年年第1回と比較して難易度が高くなり、全受験者の合格率は68.6%と、昨年からはほぼ20%減少しました。しかし本学では、既卒者・在学者の平均合格率が78.0%、在学生72名だけだと95.8%と、他校と比較して圧倒的な合格率を示しました。

直前試験対策の実施と、それに呼応した学生の頑張りの結果がこの好成績につながったと考えており、今年度もより高い合格率を目指して対策を講じていきます。

#### 6) 学生の動物看護師としての価値向上

国家資格が始まって以来、それ以外の資格取得者が減少しています。加えて、昨年度に動物看護総合学科の福祉コースと資格コースが終了したため、今後愛玩動物看護師の国家資格以外の資格を取得する者が極端に減少すると考えられます。

各種資格の必要性の認識を上げていくことに加え、合格者の補助の増額を実施し、各種資格取得を促進していきます。

学校としても、愛玩動物看護師国家試験に必要なカリキュラムだけでなく、昨年度から実施した選択授業や特別授業に加え、現場で強みを発揮できる学生を送り出せるよう、カリキュラムの改善を続けていきます。